

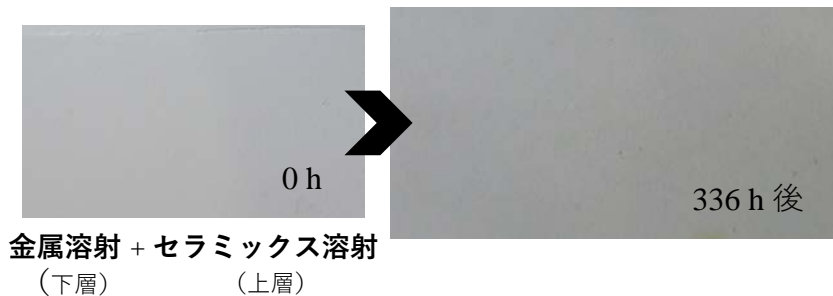
ふしょく 腐食のお困りごとありませんか？



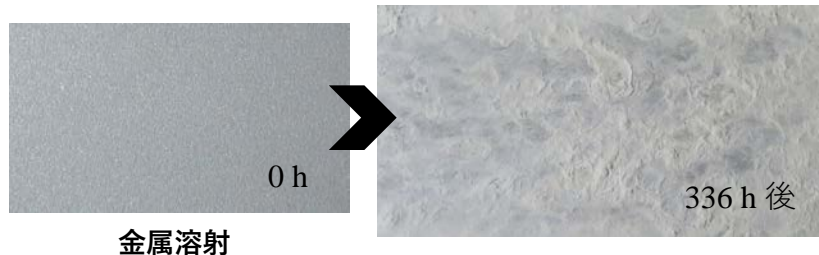
- ▶屋外環境中の金属部品の腐食（塩害など）に困っていませんか？
- ▶コダマの溶射なら、腐食による損耗での部品取り換えの手間が省け、**ライフサイクルコストを安く抑えることが可能です。**
- ▶樹脂への耐候性溶射（紫外線劣化防止）も可能です。

塩乾湿繰り返し試験機による塩水噴霧試験 ※1 ※1 試験機器：ISO-3-CY Rにより、JIS Z2371に準拠した試験

自然環境にシミュレートした試験方法として、溶射皮膜、メッキ、鉄（表面処理なし）の耐食性の評価を行いました。



- ▶ 基材・皮膜共に影響なし
- ▶ 金属溶射で耐食性、電磁波遮蔽性の付与。
+ セラミックス溶射で耐候性を高めます。



- ▶ 基材は影響なし
- ▶ 金属皮膜に犠牲防食作用※2が働くことで、白錆びは出てしまいますが基材は腐食しにくくなります。

※2 イオンになりやすい金属が鉄より先に溶け出す為、鉄が露出しても腐食しない現象

基材の腐食あり ▶
メッキの平均的な厚さ※3では
基材の錆が浮き出てしまいます。
※3 JIS H 8641 より抜粋「2種 45 HDZ45」



鉄は金属の中でもさびやすく、
1日でも経過すれば赤錆が表面に
出現。海水や融雪剤でも錆を誘引
する原因となります。



KODAMAの溶射にお任せください！

- ① 皮膜に犠牲防食作用が働くことで金属部品をより長くお使い頂けます。
- ② +αでセラミックスの溶射皮膜を作ることさらに耐食性の効果を強くすることが可能です。
- ③ 溶射皮膜を付けることで高額の金属部品を**何度も買い替える必要がありません！**
- ④ 橋や鉄塔、キュービクルや配電盤などの防食に。